

砺波市水害ハザードマップ 地区詳細図①(出町地区)

水害ハザードマップの見方・使い方

① 知る
自宅の位置に印をつけましょう。
自宅や周辺がどの程度浸水するおそれがあるのか把握し、住まいの危険性を確認しましょう。また、自宅が早期の立退き避難が必要な区域に指定されていないか確認しましょう。
水害時に利用可能な避難先(避難所)を確認しましょう。

② 考える
自分(家族)がとる行動を時系列に整理し、わが家の避難計画(マイ・タイムライン)を作成してみましょう。「防災と向き合い」防災マニュアルは、防災・減災意識の向上と家庭での防災対策を目的として、水害発生時などの行動や応急手当の方法、市内の避難所等を記載した冊子です。家庭で話し合え、非常時の持ち出し品や避難ルート等の事前確認に活用してください。砺波市マイタイムライン記入シート
防災と向き合い

③ 試す
土砂災害のおそれがある箇所や側溝・アンダーパスや地下道などの危険箇所を避け、家族みんなで避難ルートを歩いてみましょう。

市民のみなさんへの情報の伝達

発信する情報 気象情報 河川水位情報 避難情報

気象庁
■洪水キキクル(洪水警報の危険度分布) 入手
大雨による洪水災害発生時の危険度を、5段階に色分けした地図でリアルタイムに確認できます

国土交通省・富山県
■富山防災WEB 入手
富山県の防災情報からライフライン情報まで幅広く情報を提供しています

■川の防災情報 入手
河川の水位計の情報を確認することができます

■テレビのdボタン 入手
テレビのdボタン(データ放送)から、気象情報・雨量情報・水位情報のほか、市が発信する避難情報や避難所開設状況などを見ることができます

■緊急速報メール(エリアメール) 発信
砺波市内にいれば強制的に携帯電話にメールが送られてきます。主に避難に関する情報など、緊急性の高い情報が流れます

■Yahoo!防災速報アプリ 発信
アプリを登録。注意報・警報や、大雨の予報、避難に関する情報等、防災に必要な情報がプッシュ配信で受け取れます

■砺波市防災・気象情報 入手
防災・気象情報を見ることができます

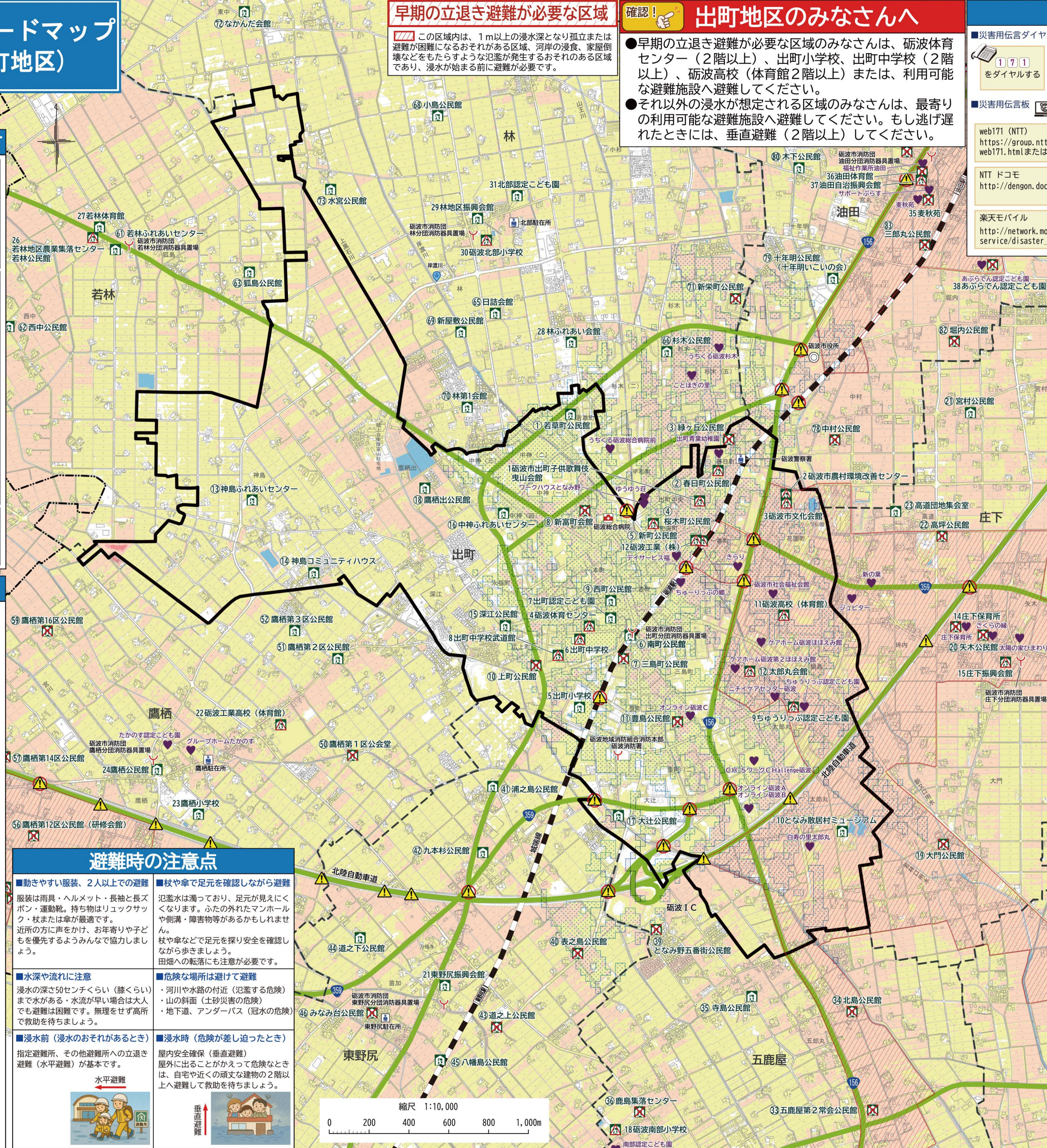
■とらね衛星通信テレビ(株)(091ch) 入手
防災情報チャンネル
緊急災害情報の配信
(株)FMとなみ(FM76.9MHz) 発信
緊急災害情報の配信

■警察・消防車両・市の広報車 発信
災害予警報情報を地域住民に伝達しています

■市緊急メール 発信
事前登録。緊急な避難や対策を要する情報を配信

■砺波市ソーシャルメディア(SNS) 発信
事前登録。防災・緊急情報を速やかに配信

市公式 X 市公式LINE



早期の立退き避難が必要な区域
この区域内は、1m以上の浸水深となり孤立または避難が困難になるおそれがある区域、河岸の浸食、家屋倒壊などをもたらすような氾濫が発生するおそれのある区域であり、浸水が始まる前に避難が必要です。

確認！ 出町地区のみなさんへ

- 早期の立退き避難が必要な区域のみなさんは、砺波体育センター(2階以上)、出町小学校、出町中学校(2階以上)、砺波高校(体育館2階以上)または、利用可能な避難施設へ避難してください。
- それ以外の浸水が想定される区域のみなさんは、最寄りの利用可能な避難施設へ避難してください。もし逃げ遅れたときには、垂直避難(2階以上)してください。

災害時の連絡方法

■災害用伝言ダイヤル171 電話(加入電話、公衆電話、ISDN、携帯電話、IP電話)で安否情報を確認できます。

171をダイヤルする
録音再生
伝言を残すときは1
伝言を聞くときは2

■災害用伝言板 パソコン・携帯電話・スマートフォンから固定電話や携帯電話の電話番号を入力して安否情報(伝言)の登録・閲覧ができます。

web171 (NTT) <https://group.ntt.jp/disaster/service/web171.html>または「web171」で検索

KDDI (au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

NTT ドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

ソフトバンク/ワイモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>

楽天モバイル http://network.mobile.rakuten.co.jp/service/disaster_board/

※災害用伝言板は、大きな災害が発生した時に提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

防災関連機関

官公庁	電話番号	警察	電話番号
砺波市役所	0763-33-1111	砺波警察署	0763-32-0110
砺波市役所 庄川支所	0763-82-1901	砺波警察署 北部駐在所	0763-33-1528
国土交通省 富山河川国道事務所	076-443-4701	砺波警察署 鷹栖駐在所	0763-33-1291
富山県砺波土木センター	0763-22-3524	砺波警察署 東野尻駐在所	0763-33-1529
ライフライン	電話番号	砺波警察署 五鹿屋駐在所	0763-33-2478
北陸電力送配電 故障など	0120-83-7119	砺波警察署 中野駐在所	0763-33-2477
北陸電力線富山支店 その他	0120-77-6453	砺波警察署 庄西駐在所	0763-33-2479
NTT西日本 故障など	113 (局番なし)	砺波警察署 庄東駐在所	0763-37-0099
その他	116 (局番なし)	砺波警察署 庄川駐在所	0763-82-3522
		砺波警察署 梅檀野駐在所	0763-37-1630
		病院	電話番号
		砺波地域消防組合消防本部	0763-32-4957
		砺波消防署	0763-33-0119
		砺波消防署 庄東出張所	0763-37-0119
		小矢部消防署 津沢出張所	0766-61-2272
		南砺消防署 東分署	0763-82-0119
		市立砺波総合病院	0763-32-3320
		最寄りの関係機関	電話番号

避難所一覧表

地区	避難所区分	番号	避難施設名	住所	電話番号
指定避難所	1	△	砺波市出町子供歌舞伎曳山会館	出町中央5-4	32-7075
	2	△	砺波市農村環境改善センター	花園町1-32	33-5515
	3	△	砺波市文化会館	花園町11-32	33-5515
	4	△	砺波体育センター	表町18-6	32-5240
	5	△	出町小学校	深江1-238	32-2069
	6	△	出町中学校	表町18-29	33-2329
	7	△	出町認定こども園	表町18-3	32-2679
	8	△	出町中学校武道館	広上町8-16	32-1673
	9	△	ちゅうりっぷ認定こども園	太郎丸2-29-2	33-4478
	10	△	となみ散居村ミュージアム	太郎丸8	34-7180
出町	11	△	砺波高校(体育館)	東幸町3-36	32-2447
	12	△	砺波工業(株)	表町1-8	32-3105
	①	△	若草町公民館	若草町144	—
	②	△	春日町公民館	春日町2-24	—
	③	△	緑ヶ丘公民館	寿町2-12	—
	④	△	桜木町公民館	中央町1-20	—
	⑤	△	新町公民館	中央町5-10	—
	⑥	△	南町公民館	表町11-8	—
	⑦	△	三島町公民館	三島町6-14	—
	⑧	△	新富町公民館	新富町2-35	—
その他避難所	⑨	△	西町公民館	表町15-8	—
	⑩	△	上町公民館	広上町10-55	—
	⑪	△	豊島公民館	豊島町1-9-10	33-3227
	⑫	△	太郎丸公民館	太郎丸1-5-11	—
	⑬	△	神島ふれあいセンター	神島377-1	—
	⑭	△	神島コミュニティハウス	神島780-10	—
	⑮	△	深江公民館	深江1817-1	—
	⑯	△	中神ふれあいセンター	中神4-134	—
	⑰	△	大社公民館	大社51-1	—
	⑱	△	鷹栖出公民館	鷹栖出4089	33-4600

番号 △ 洪水時 全階利用可能 □ 洪水時 2階以上利用可能 ○ 洪水時 全階利用不可

地図記号の見方

浸水想定深さ(洪水)

- 浸水深20.0m以上の区域
- 浸水深10.0~20.0m未満の区域
- 浸水深5.0~10.0m未満の区域
- 浸水深3.0~5.0m未満の区域
- 浸水深0.5~3.0m未満の区域
- 浸水深0.5m未満の区域

浸水想定深さ(内水)

- 浸水深5.0m以上の区域
- 浸水深1.0~5.0m未満の区域

避難情報

- 指定・その他避難所(全階利用可)
- 指定・その他避難所(2階以上利用可)
- 指定・その他避難所(全階利用不可)
- 早期の立退き避難が必要な区域
- 緊急輸送道路
- 行政界
- 地区界
- 地区詳細図の境界
- 官公庁
- 消防署
- 警察署
- 救急医療機関
- 要配慮者利用施設
- 河川監視カメラ
- 危機管理型水位計

遊経路上の危険箇所
アンダーパス(道路や鉄道の下を通る地下道など)
△ ボンプ有
△ ボンプ無
△ 土砂災害警戒区域

避難時の注意点

■動きやすい服装、2人以上での避難
服装は雨具・ヘルメット・長袖と長ズボン・運動靴。持ち物はリュックサック・杖または傘が最適です。近所の方に声をかけ、お年寄りや子どもを優先するようみんなで協力しましょう。

■杖や傘で足元を確認しながら避難
氾濫水は濁っており、足元が見えにくくなります。ふたの外れたマンホールや側溝・障害物等があるかもしれません。杖や傘などで足元を探り安全を確認しながら歩きましょう。田畑への転落にも注意が必要です。

■危険な場所は避けて避難
・河川や水路の付近(氾濫する危険)
・山の斜面(土砂災害の危険)
・地下道、アンダーパス(冠水の危険)

■水深や流れに注意
浸水の深さ50センチくらい(膝くらい)まで水がある・水流が早い場合は大人でも避難は困難です。無理をせず高所で救助を待ちましょう。

■浸水前(浸水のおそれがあるとき)
指定避難所、その他避難所への立退き避難(水平避難)が基本です。

■浸水時(危険が差し迫ったとき)
屋内安全確保(垂直避難)
屋外に出ることがかえって危険なときは、自宅や近くの頑丈な建物の2階以上へ避難して救助を待ちましょう。

水平避難
垂直避難

